

## 会 議 記 録

会議名称	第2回社会教育委員の会議
日 時	令和元年8月21日（水）午後5時30分～午後7時35分
場 所	東棟6階 教育委員会室
出席者	委員／山口、朝枝、南、檜枝、天野、内山、笹井 区側／生涯学習担当部長、生涯学習推進課長、生涯学習推進課長代理（管理係長）、社会教育推進担当係長（社会教育主事）、教育連携担当係長（社会教育センター社会教育主事）、庶務課計画担当係長、管理係主査、管理係主任、社会教育センター主査
配付資料	<p>&lt;配付資料&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度第1回社会教育委員の会議 会議記録（案）</li> <li>2 令和元年度における「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施について</li> <li>3 生涯学習振興室の移転について</li> <li>4 次世代型科学教育の新たな拠点の整備について</li> <li>5 中央図書館仮設事務所への移転および連絡先について</li> <li>6 「学びのまち・杉並」のこれからと社会教育について</li> </ol> <p>&lt;参考資料&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度杉並区の教育（委員のみの配付）</li> <li>2 杉並区教育ビジョン2012推進計画 令和元～3年度（2019～2021年度）（委員のみの配付）</li> <li>3 平成30年度杉並区教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成29年度分）報告書</li> <li>4 阿佐谷南ゆうゆうハウス</li> <li>5 第4回すぎなみサイエンスフェスタ 平成30年度事業報告書（委員のみの配付）</li> <li>6 すぎなみ大人塾記録集（委員のみの配付）</li> <li>7 夏休み子ども向け催し情報カレンダー</li> <li>8 すぎなみ社会教育セミナー「自分流でSDGs時代を駆け抜けろ！」</li> <li>9 すぎなみ大人塾 高円寺コース2019「真剣！多世代“食べり場”」</li> <li>10 企画展「杉並の生き物と外来生物」</li> <li>11 企画展「杉並に路面電車が走っていた頃」</li> <li>12 とうきょうの地域教育 No.136</li> <li>13 性的マイノリティについて知ろう！映画&amp;講演会「彼らが本気で編むときは、」（委員のみの配付）</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すぎなみ教育シンポジウム関連イベント“学校の「当たり前」をやめた”</li> <li>・おやこみゅ関連資料（天野委員より）</li> </ul>

会議次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>I 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 会議録の確認について</li> <li>2 令和元年度における「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施について</li> <li>3 施設再編整備計画にかかる社会教育分野の取組について</li> </ul> </li> <li>II 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 検討課題について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「学びのまち・杉並」のこれからと社会教育について</li> <li>(2)各委員の課題認識について</li> </ul> </li> <li>2 次回について</li> <li>3 その他</li> </ul> </li> <li>・閉会</li> </ul>
------	--

## (意見要旨)

○議長 令和元年度における「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施について。

○庶務課計画担当係長 教育委員会では地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年、教育委員会の権限に属す事務の管理、執行について前年度分の状況点検と評価を行っている。その結果は報告書にまとめ区議会に提出するとともに、区民の方にはホームページ等で公開している。

今年度の点検評価対象は、「学校と地域における生涯学習・社会教育が担う子どもの学び」に関連する複数の事業や取組である。大人の生涯学習や社会教育の学びの成果がどのように子どもたちに還元されているか、学校運営協議会やすぎなみ大人塾を卒業された方々が子どもたちにどのような力をつけているのか、多様な大人が支える子どもの学びに関する事業を中心に評価を行っている。

まず、私どもが自己評価を行い、その内容に客観性を確保するため、2名の学識経験者にご意見を頂戴する。今年度は、昨年度に続く東京大学大学院 牧野篤教授と、新たに生涯学習分野での研究や現場での経験等を踏まえた国立教育政策研究所生涯学習政策研究部の志々田まなみ総括研究員にお願いする。

○議長 次に、施設再編整備計画にかかる社会教育分野の取組について。

○生涯学習推進課長 まず、「生涯学習振興室の移転について」であるが、杉並第九小学校の余裕教室を活用して運営してきた、通称「杉九ゆうゆうハウス」を産業商工会館内に8月1日から移転し、運営を始めている。改修中の中央図書館がリニューアルオープンする来年9月までの暫定開放の位置づけになる。オープンする中央図書館での閲覧スペースの拡充と、地域コミュニティ施設のラウンジスペースに生涯学習振興室の機能を継承していくことになっている。

次に、次世代型科学教育の新たな拠点の整備についてである。

6月24日にサウンディング型市場調査の実施要領を公表し、7月9日に開催した民間事業者向け説明会と現地見学会に12団体が参加、その後の8月8日、9日の2日間には申し込みのあった9団体と1団体50分の対話を実施し、我々が考えてい

る次世代型科学教育の拠点、この杉四小の跡地活用についてのご意見をいただいた。対話の内容については、現在、整理しており、9月末までにはその調査の結果を公表する予定である。

もう一点は、中央図書館の改修工事についてであるが、用途やレイアウトを変更して来年6月30日までに改修終了し、来年の9月にリニューアルオープンを予定している。そこがオープンすると、先ほどの生涯学習振興室の機能を中央図書館に移転することになっている。

○議長 何点か報告、説明があったが、質問等いかがか。

○委員 サウンディング型市場調査は、対話を受けて、よくなる部分や新たな視点が教育委員会の評価としてあったか。

○生涯学習推進課長 最終的には公募によるプロポーザルに参加していただきたいので、こちら側の現段階での条件を示し、ご意見をいただき、そうした中で公募条件を見直しながら参入しやすい状況をつくるところに大きな力点があった。特に、今回の活用でメインとなる次世代型科学教育については、こちらが想定していなかったような事業展開のご提案もいただいております、例えば、企画展のようなものを常設するのではなく期間ごとに展開していくということや、サイエンスを起業する方にスペースを提供することはいかがかというご提案などもいただいた。これらの提案を公募の中に反映させていく整理を今進めているところである。

○議長 それでは、検討課題「「学びのまち・杉並」のこれからと社会教育について」説明をお願いします。

○社会教育推進担当係長（社会教育主事） 杉並区教育ビジョン2012推進計画は、総仕上げとなる時期を迎えている。この中で生涯学習・社会教育に関する大きなこととして、次世代型科学教育の新たな拠点の整備や図書館・社会教育センターの改修等を含んでいる。今期社会教育委員の任期はこうした環境整備のタイミングにあるため、会議では、施設整備中の対応や状況についての情報を適宜共有したり、必要な場合にはご意見もいただきながら進めたい。内容はハードの整備がメインとなる時期であり避けられないのであるが、ハードだけに頼るのではなく、その環境を生かしながらよりよい社会をつくるためには何が必要となるか展望し、次のビジョンに引き継ぐ。課題として残されているものがあるとするれば、それをどうしていくかということのポイントとして幾つか取り上げながらここでご意見をいただき、その先のビジョンを描く生涯学習・社会教育の検討の機会として生かすようにしたいと考えている。

このような考え方のもとで今期を運営していきたいと思う。

○議長 それでは、次のテーマ、各委員の課題認識について。

今回と次回とで、これからの社会教育委員の会議での問題意識を確認し合い、共有できる問題があるのかなど、我々社会教育委員が交代で自己PRあるいは自分の関心ある事柄等々についてお話しいただきたいと思う。

※4名の委員から、課題にかかる内容で自己紹介を兼ねた発言があった。

○議長 ありがとうございます。あとの方は、次回に引き続くので、よろしくお願ひしたい。ほかに、いかがか。

○教育連携担当係長 本日、学校支援課の事業チラシを配らせていただいたが、

そちらを参考にさせていただきたい。今、期末テストをやめたとか宿題をやめたとか、あるいは部活動も随分変えるなど今まであって当然というものを大きく変えている、千代田区の麴町中学校の校長先生のお話である。改めて子どもはどこに向かって学んでいるのかという大原則に戻りながら、それを見直してきた経験をお話しいただくプログラムになっている。

学校自体もこれから10年、20年、これまでの私たちが思っていた学校とは違って、今は家庭・地域・学校の連携、協働ということも言われているが、もっとその先には、そもそも子どもたちが集まって学ぶ意味とは何かということを考えながら、学校という仕組みが新しい時代に合わせて変わっていかうとしている。杉並区の学校自体もこれまでの各学校の当たり前を見直そうと学校の棚卸しを進めているところでもあるので、そういうことを支えていくのが、実は保護者や地域住民の方の学校観を変えていくということにもなり、まさに社会教育なのではないかなと思っている。ぜひ、お越しいただきたきたい。

○議 長 最後に、課長から一言お願いしたい。

(生涯学習推進課長 挨拶)

○議 長 それでは、これで閉会にします。